

ArkGioia

株式会社アーク・ジョイア
東京都文京区音羽 1 丁目 1 番 7 号
正進社ホールディングスビル 4F
2021 年 6 月 吉日

estelon

エステロン

新製品発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り篤く御礼申し上げます。

エステロン（エストニア）のフロアスタンディング型スピーカー Model “YB” は、コンポジット材で鋳造成型された独創的なキャビネットデザイン、音響工学に基づいた理想的なユニット配置から生み出されるサウンドに、多くのオーディオファイルの方々から非常に高いご好評を頂いております。この度、同社のフラグシップモデル “Forza” の設計時に着想した多くの技術と経験を活かし、新たにリファインされ生まれ変わった “YB Mk II” を発売致します。

つきましては添付の資料をご高覧いただき、ご試聴、ご検討いただけましたら幸甚に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- ブランド名 estelon（エステロン / エストニア）
- 製品名 YB Mk II フロアスタンディング型 密閉方式 スピーカー・システム
- 希望小売価格 2,500,000 円（税別・ペア） 2,750,000 円（税込・ペア）
※3 仕上げ一律価格
- 仕上げ グロス・ブラック
グロス・ホワイト
マット・ブラック
- 発売日 2021 年 6 月 16 日

以上

■ エステロン社について

エステロン社は、2010年にバルト3国のひとつ、エストニア共和国の首都であり世界遺産にも登録された美しい町タリンで設立されたハイエンド・オーディオメーカーです。全ての製品を手掛けるエンジニア、Arfred Vassilkov(アルフレッド・ワシルコフ)氏は25年以上の永きにわたり旧ソ連、エストニアの地でオーディオ設計に携わっていました。かつてソビエト連邦に属していたエストニアは資源が限られた共産社会による自由な製品づくりが出来ない中で試行錯誤を繰り返していたアルフレッド氏は、1991年ソ連からのエストニア独立後、晴れて革新的な製品づくりが出来るようになり自身が培った技術と才能を開花させたのです。エストニアの緑豊かな自然や広大な景観からのインスピレーションを受け、ハイクオリティ・エンジニアリングとデザインの美しい調和を達成しています。



アルフレッド・ワシルコフ氏

■ エステロンの追求する、パーフェクト・クオリティ

エストニア共和国の首都タリンに所在する同社工房にて一台一台が手作業で組み上げられ、サウンド調整においては幾多の測定項目を経たのち最終的にはワシルコフ氏自身によるリスニングテストが行われます。厳密なリスニングテストをクリアしたもののだけがワシルコフ氏による承認がなされ、出荷されます。

パーフェクト・クオリティを追求するエステロンの製品は、全てにおいて一切の妥協を許しません。



■Model “YB” について



(上画像：グロス・ホワイト仕上げ)

創業者アルフレッド・ワシルコフ氏の「エステロンのサウンドをより多くの方に体験してもらいたい」という思いが具現化され生み出された Model “YB”。

“YB” というモデル名は正面から見た時の Y 形状を描く流麗なキャビネットデザインに由来しています。

☆共振、内部定在波を極限まで抑制する、革新的な鑄造成型キャビネット

キャビネットは大理石をベースとするパウダー状の複合素材（コンポジット材）をミックスする製法により、各素材の持つ固有の共振点を分散させ、その上で鑄造成型します。

一般的なキャビネットの成型時と異なり各部位の繋ぎ目のない理想的な一体成型であり、さらに内部には並行面がないために定在波の影響も極限まで抑制した“ノン・レゾナンス・キャビネット”を完成させました。

☆高いインテリアデザイン性も確立

その独創的で流麗なデザインが高く評価され、国際的なプロダクト・デザイン賞である、ドイツのレッドドット・デザイン賞を受賞しています。

☆職人の手作業による美しい仕上げ

キャビネットの塗装は、最高級塗料を用いて熟練の職人の手により入念に行われ、その後ウェットサンディングと仕上げの研磨が施されます。

仕上げは、「グロス・ブラック」「グロス・ホワイト」「マット・ブラック」の3種類を用意。

■新 Model “YB Mk II” について

●初代 Model “YB” から “YB Mk II” への進化点

★最新のキャビネット素材を採用

★クロスオーバー・ネットワークの再構築

★フット部の改良

★最新のキャビネット素材を採用

従来の“YB”と上位モデルの“Xシリーズ”には共通のキャビネット素材を採用していましたが、同社の中で一番新たなフラグシップモデル“**Forza**（フォルツァ）”には、更なる研究の末に辿り着いたより強度の高い新素材と絶妙な配合のバランスによって完成した、新設計のキャビネットを採用しています。

従来のキャビネット素材と比べ高剛性と共振抑制の向上を実現した事で、同社の特徴ともなる「コンポジット材」によるメリットを十分に活かした“**ノン・レゾナンス・キャビネット**”を体現する更なる進化を遂げました。

“YB Mk II”のキャビネットはその“**Forza**”と同等の新素材が配合された新設計のキャビネットが採用されています。“YB Mk II”の1本あたりの重量は約**45kg**、従来の“YB”よりも約**5kg**増加、キャビネットの不要振動がさらに低減したことで、搭載するドライバー・ユニットのパフォーマンスを最大限まで発揮し、より純度の高い音楽再生を可能とします。

キャビネットは共振点の異なる複合素材（大理石パウダー等のコンポジット材）をミックスした上で鋳造による一体成型を採用することで、高剛性・高密度を確保。さらにキャビネット内部を全て湾曲面とする事で、内部定在波を抑制し、音楽信号はより純度の高さを極め、ダイナミクスの向上、リアルな楽器や音場を忠実に再現します。

密閉型キャビネットでありながら左右非対称という独創的な設計を施すことで、難しい低音域のコントロールを容易にし、あらゆる環境や空間においても、自然でバランスの取れたサウンドを再現する事が出来ました。



(Forza : マット・ブラック仕上げ)



(YB Mk II : マット・ブラック仕上げ)

★クロスオーバー・ネットワークの再構築

進化したキャビネットのポテンシャルを最大限発揮させるため、ネットワーク回路の設計や使用する素材、キャビネット内配置に至るまで一から見直し最適化されています。クロスオーバー回路は、ツイーター/ミッドレンジは2次カーブ (-12dB/oct)、ミッドレンジ/ウーファーは3次カーブ (-18dB/oct) を採用。OFC（無酸素銅製）のコイル、さらに Mundorf（ムンドルフ）製 Silver Gold Oil コンデンサを搭載、取り付けるはんだも高品位な物を使用しており、全てが熟練の職人による手作業によって製造されます。



アンプからの音楽信号をドライバー・ユニットに伝送する内部配線材にも、一切の妥協の無い素材選定を行っています。ハイエンドケーブルメーカーとして有名な Kubala-Sosna（クバラ・ソсна）製の純銅ケーブルを採用することで、3次元的な空間の表現、透明感の溢れる音楽そのものを奏でることができます。

★フット部の改良

従来の“YB”に搭載されていた床との設置面が平面形の「ステンレス鋼フラット・フット」だけでなく、“YB Mk II”では「ステンレス鋼スパイク・フット」も追加されました。設置面にフローリングやコンクリート、石材を採用されている場合にはフラット・フットを、カーペットなどの場合にはスパイクの使用を推奨します。どちらも標準で付属されるため、設置する環境やお好みのサウンドに応じて一番適したフット部へ交換する事が可能です。また脚部はシルバーからブラックに変更されています。

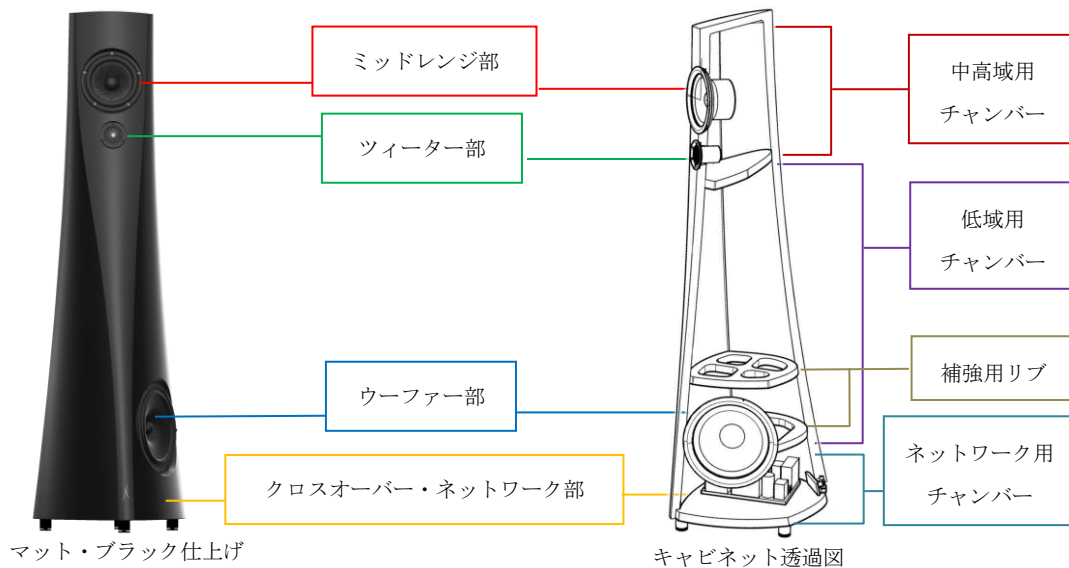


フラット・フット



スパイク・フット

■独創的なユニット配置、内部設計について



【ウーファー部】

中低音域の一部が壁から反射することで、音楽全体に不要な着色（カラーリング）が加えられ、立体的な音像の表現を損なってしまう場合があります。ウーファの位置を左右非対称に角度の付いたオフセットにする事で、音楽信号に込められた本来の質感や空気感といった純度を保ったままより均一な低音伝搬を可能とします。また“YB Mk II”のウーファー / ミッドレンジのクロスオーバーは 80Hz であり、指向性が低く音の発生場所が特定しづらい音域です。ウーファーが床に近い位置に搭載されていることで、低域は床の表面と音響的に結合し、正確な位相再生とリスニングルームの定在波を均一に分散させるため、リスニングポジションでの低音再生を最適化する事が容易になります。

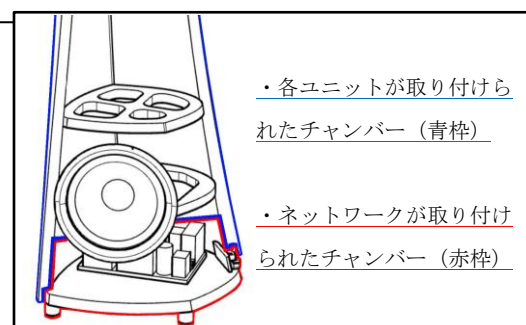
【ミッドレンジ/ツイーター部】

「ウーファー」と「ミッドレンジ/ツイーター」は内部で別々の部屋になっているため、相互の干渉を最小限に抑制します。さらにミッドレンジをツイーターよりも高い位置に配置することで、高音域から低中音域まで不要な着色（カラーリング）のない理想的なステレオフォニックを発揮し、正確な位相管理を実現します。

全ての同社製スピーカー・システムはこの考え方により、ミッドレンジ/ミッド・ウーファーはツイーターの上部に配置されています。

【クロスオーバー・ネットワーク部】

ネットワーク回路は、各ドライバー・ユニットが搭載されたチャンバーとは物理的に分離されたキャビネット底面のチャンバー内に搭載されています。そのためネットワーク回路は、ドライバー・ユニットの振動による悪影響を受けず、キャビネットの内部容積を最大限確保する事にも寄与した理想的な構造を実現しています。



■ 北欧の優れたドライバー・ユニット群を搭載

※ “YB Mk II” は従来の “YB” からドライバー・ユニットの変更はありません。

・ 低域

SEAS（ノルウェー）製の 220mm ウーファー・ユニットを搭載。採用されている軽量且つ高剛性なアルミニウム素材配合コーンは、低音域の驚異的な位相精度を誇ります。ウーファー・ユニットは音響工学に基づき左右チャンネル非対称に搭載することで、音楽の細部まで如実に再現。

セッティングする際にウーファー・ユニットを内向き/外向きどちらにするかは、使用環境によって異なる様々な音響条件下に応じ、聴感により一番適した方向にする事が可能です。



・ 中域

音楽信号の中で広い帯域を占める中域には、SCANSPEAK（デンマーク）製の 150mm のミッド・レンジ・ユニットを採用。スライスド・ペーパーコーンを更に粘性のあるグルーでダンピングすることで、ダイヤフラムの分割振動を大幅に低減しています。フラットな周波数応答と相まって中音域の歪は最小限に抑えられ、ユニットの付帯音を感じさせないナチュラルな再生を実現します。



・ 高域

中域と同じく、SCANSPEAK（デンマーク）製の 25mm ベリリウム・ドーム型ツイーターを搭載。高硬度でありながら軽量、さらには高減衰特性を合わせ持つことで、歪みを極限まで抑えた伸びやかで透明度溢れるサウンドを提供します。



・ サランネット付属

各ドライバー・ユニットそれぞれに専用のサランネット（仕上げに関係なく全て黒色）が付属されています。ユニットのリムにマグネットで装着するため、脱着が容易となっています。



マット・ブラック仕上げ
サランネット未装着時



マット・ブラック仕上げ
サランネット装着時

■ Specification

| | |
|------------|---|
| ブランド名 | Estelon (エステロン) |
| 製品名 | YB Mk II |
| 形式 | 3way 3 スピーカー フロアスタンディング型 密閉方式 スピーカー・システム |
| 使用ユニット | 低域：220mm アルミニウム・コーン 1基 中域：150mm 特殊加工スライズド・ペーパーコーン 1基 高域：25mm ベリリウム・ドーム 1基 |
| 周波数特性 | 30～40,000Hz |
| クロスオーバー周波数 | 80Hz / 2kHz |
| 出力音圧レベル | 86dB |
| 公称インピーダンス | 6Ω |
| スピーカー端子 | シングル・ワイヤ端子 |
| 寸法 | W332 × D394 × H1260mm |
| 重量 (1台) | 45kg |
| 付属サランネット | マグネット着脱式 |
| 仕上げ | グロス・ブラック グロス・ホワイト マット・ブラック |

■ 色見本



